（別紙３）

公表　児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュ岩倉			
○保護者評価実施期間	令和７年　1月　23日		～	令和７年　1月　31日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	3
○従業者評価実施期間	令和7年　2月　10日		～	令和7年　2月　15日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　2月　26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連絡や、日々の子どもたちの様子を理解していただくために、SNSを活用している。	保護者との連絡ツールアプリで毎利用時のお子様の様子をお知らせしています。またイベント時は、SNSでお子様の様子が写真で見られるようにしています。	連絡ツールアプリで伝えきれない事に関して、送迎時にも保護者の方と常に情報交換できるようにコミュニケーションを更に図っていく。
2	ご利用を楽しみに通って頂いています。	ご本人の「やってみたい」と思う意欲を大切に、遊びを通して発達・学びを得られるように支援しています。	職員全体の知識を高める為に、研修をしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との交流があまりない。	公共の場に出向いているが、意図的に外部と関わりがもてるような市開催のイベント等には参加できていない。	市開催の子ども参加型のイベントに積極的に参加していく。
2	父母の会の活動を支援する事や、保護者会を開催する灯により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援がかけている。	現在、保護者同士の関わりを持てる場の提供がされていない。	事業所内の親子参加型のイベントの開催等検討していく。
3			